福島県減塩アクションプラン事例のご報告

ペキユーピー株式会社»



20<mark>2</mark>5年7月23日(水) キューピー株式会社 東北支店 郡山営業所

福島県内のキユーピーグループ事業所



キューピーグループ 2025年トピックス

・キユーピーマヨネーズ発売100周年









➤ 取組目標について

> 実施内容

> 現在の取り組み内容について



▶ 取組内容

①レシピ開発

<減塩アクション>>

減塩に関する『ふくしま健康応援メニュー』の開発

《実施期間》

2024年4月~2026年3月

<数値目標≫ 10メニュー



②情報発信

«減塩アクション»

マヨネーズは低塩の調味料であることの情報発信とともにサンプリングを実施

《実施期間》

2024年4月~2026年3月

<数値目標>>
サンプリング1000個



実施内容について

> 実施内容①レシピ開発(健康応援メニュー)

◆令和6年度健康応援メニュー





		レシピ名	テーマ野菜	料理区分	学校給食
	1	ふわふわ卵とトマトのスープ	10月トマト	汁物	0
	2	トマトとふわふわ卵のマヨソテー	10月トマト	副菜	-
	3	キャベツとさばの具だくさんみそ汁	11月キャベツ	汁物	0
	4	鶏むね肉とキャベツとミニトマトのソテー	11月キャベツ	主菜	
	5	キャベツとにんじんとコーンのあえサラダ	11月キャベツ	副菜	

◆令和7年度健康応援メニュー





	レシピ名	テーマ野菜	料理区分	学校給食	
1	なすとトマトと厚揚げのドレッシング炒め	10月トマト	主業	-	
2	キャベツと豚しゃぶの塩昆布マヨサラダ	11月キャベツ	副菜	-	
3	春菊とまぐろのチョップドサラダ		副菜	-	12月春菊
4	キャベツとゆで卵とベーコンのあえサラダ	11月キャベツ	副菜	-	
5	鶏肉とプロッコリーのクリームシチュー		汁物	0	11月プロッコ!

- ➤ 実施内容②サンプリングの実施
- ◆令和6年度

2024年10月 国見町 「くにみ健康フェスタ」



2024年10月 田村市「いきいき健康づくりフォーラム」



2024年11月 桑折町「こおりヘルスアップDAY」







計1,000セット配布

実施内容について

▶ 実施内容②サンプリングの実施

◆令和7年度





2025年6月1日 南会津町 「ヨークベニマル田島店、リオン・ドール田島バイパス店」

計400セット配布

現在の取り組み内容について ~サラダファーストの推進~



誰よりもサラダのことを大切に考え、サラダの価値を引き出し、おいしいサラダを お届けしたい。その想いを込めて、「サラダファースト」をキャッチフレーズに、サラ ダの魅力を伝える取り組みを強化しています。

野菜摂取を補うサラダの魅力と可能性

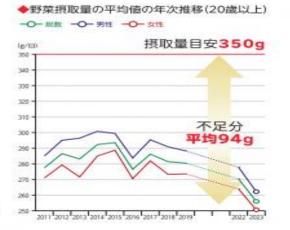
野菜の摂取量は1日350g の摂取が推奨されています が、日本では慢性的にその 摂取量が不足しています。 また、2023年の成人の野 菜摂取量は2001年以降で 過去最低の結果となってい ます。

1日の野菜不足分は平均94g

出典:厚生労働者「令和5年(2023)国民健康・栄養調査」の結果

一方、サラダの食卓登場頻度 は野菜メニューの中で最も 高く、食卓に上がるすべての メニューの中でもTOP5に。

全46メニュー中ランキング5位に



◆食MAP全メニューランキング(2023年)

	メニュー	2023年
1	飲料	1093.4
2	ご飯類・もち	481.4
3	パン類	250.4
4	汁物・スープ	209.4
5	サラダ・単品生野菜	202.3

食べたいものを野菜と一緒に、シーンを選ばず好きなときに。 サラダは健康のための義務感で食べるものではなく、 いつでも気軽に楽しめるもの。

私たちは、サラダのリーディングカンパニーとしてサラダを好きな人も、 サラダに慣れ親しんでない人にも野菜と一緒においしく食べて いただく機会を創出するよう外食・中食・内食、すべての食シーン、 すべての業態で連携し、サラダの無限の可能性を追求していきます。

SALAD FIRST ACTION!

好きなモノと、好きなコトと、好きなトキに。

with ベジタブル







野菜と一緒に食べることで 罪馬感も軽減 栄養パランスもしっかり。





みんなが集まるシーンに彩りを。 おいしさも楽しさも サラダと一緒に、



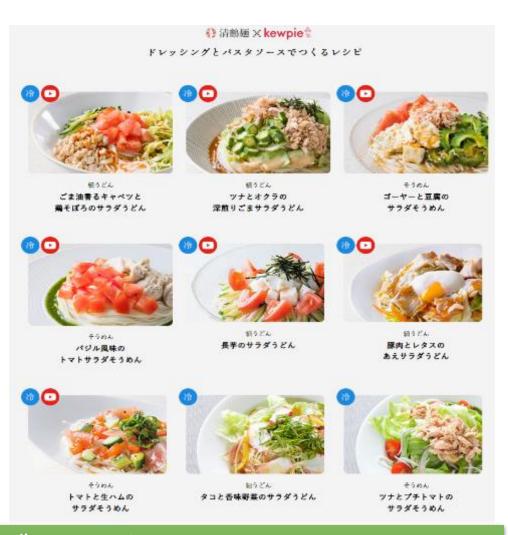


たんぱく質と野菜で より良い栄養バランスへ。

低塩調味料であるマヨネーズ・ドレッシングを使った野菜(サラダ)摂取量を増やす提案で、 適塩生活をサポートしてまいります

➤ 福島県食材との連動





県民食である清鶴麺組合様とのメニュー連動により、サラダ麺を中心としたメニュー訴求により 野菜摂取量UPを目指しています。